

別紙1 現行システム対象一覧

#	業務領域	システム名 (正式名称は非公開)	システムの概要（現行の主な役割）	社外利用者	規模感 (目安)
1	事業管理	非公開	全スキームの案件情報（案件名、計画額、各種案件区分・属性等）の台帳を管理し、案件一覧等の定型帳票を出力する。	なし	中 ※画面数・機能数の目安では「小」ですが、全スキームを管理し利用者が多いことを考慮して「中」としています。
2	事業管理	非公開	法人・団体に関する情報や面談記録、民間連携事業・市民参加事業の応募情報及び案件情報を登録・参照・管理する。	なし	中
3	専門家派遣	非公開	専門家・調査団員の人材登録、派遣依頼・選考、派遣・渡航手続、手当・旅費・国内給付の計算・支給を担う。専門家本人・在外事務所・本部が利用するポータルを含む。	あり（派遣専門家＝ポータル）	大
4	ボランティア	非公開	JICA海外協力隊の募集・選考、研修・訓練、派遣手続、旅費・海外送金、国内手当、労災・共済会、帰国後支援に係るデータ管理と帳票出力を行う。隊員本人・在外事務所・本部が利用するポータルを含む。	あり（派遣隊員＝ポータル）	大
5	研修	非公開	研修コースの形成、研修員の募集・選考、来日受入（宿泊・渡航・保険・滞在費）、研修監理員の配置、帰国処理・帰国研修員の追跡までを管理する。	あり（研修委託先・渡航手配会社・研修監理員・建物管理事業者）	大
6	留学生	非公開	JICA事業で受け入れる留学生の基本情報・担当者情報、学籍・モニタリング情報、帰国後のフォローアップ情報を管理する。	なし	小
7	渡航管理	非公開	JICA関係者の海外渡航予定・滞在情報を管理するとともに、緊急事態発生時に、対象地域の滞在者への注意喚起及び安否の応答確認を行う。	あり（渡航者本人の一部）	中
8	在外職員	非公開	在外事務所に赴任する職員・家族の台帳（身上・家族・口座・旅券等）を管理し、外国旅行・一時呼寄せ等の渡航申請と承認、渡航権利（取得可能日）の算出、他システムへのデータ提供を行う。	なし	小
9	無償資金協力	非公開	閣議予定案件の登録からE/N・G/A締結、入札・契約、資金交付・支払、実施監理・事後監理までの無償資金協力事業の実施監理を担う。	なし	中
10	調達・契約	非公開	入札参加資格審査・業者管理と、公告・公示・入札・契約・検査・支払の調達契約手続及び台帳を管理する。	なし	中
11	調達・契約	非公開	受注者（コンサルタント等）とJICA間の契約情報・打合簿・申請・文書授受・期日／支払計画を一元管理する。	あり（受注者・コンサルタント）	中
12	経理	非公開	予算登録・執行決議、資金管理、物品（固定資産）管理、決算管理、外貨レート・振込先マスク等の経理業務を担い、各業務システムの仕訳が集まる。	なし	大 ※画面数・機能数の目安では「中」ですが、業務ロジックの複雑さ等を考慮して「大」としています。
13	決裁	非公開	決裁書の起案・確認・承認・合議・写し配布・保存・検索等のワークフローと権限管理を担う、JICA全体で共通の決裁基盤。	なし	小

■ 本資料の見方

- ・「規模感（目安）」は、現行システムの画面数と機能数（中分類）による目安です。（大：画面数200以上又は機能数100以上、中：画面数50以上又は機能数35以上、小：それ以外。件数は限定公開資料の別紙3・別紙4に記載）。システムの規模（開発・保守の工数）を直接表すものではありません。
- ・「社外利用者」は、現行システムにJICA外の利用者（派遣専門家、受注者、研修委託先等）向けのログイン・画面が存在するものを「あり」としています。
- ・上記13システムとは別に、共通基盤（API連携基盤・マスタ管理・データ基盤・認証基盤・セキュリティ監視）を次期共通基盤として別途更改する予定ですが、共通基盤自体は本RFIの対象範囲外です。
- ・有償資金協力の金融系の基幹システム（円借款・海外投融資）については現行のまま維持し連携のみを想定しているため、本RFIの対象範囲外としております。